

こくりゆうだより



大阪府立桜塚高等学校 3年 川村 ことね 『団子作り』
「お月見といえば団子、月といえぼうさぎですね。安直。」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



とよなか国際交流フェスタ 9月27日(土)10:00~15:00

登録グループによるステージ発表やポスター展示、子どもの民族衣装・楽器体験、中国の切り絵や薬膳茶のブレンド体験、バルーンアート・バスボム・キャンドル作り、ネパールの雑貨やアフガニスタンの刺繍、アレppo(シリア)の石鹸販売のほかバザー、いろんな国の食べ物や飲み物を販売します。

※今年は世界のカップ麺を取り揃えて販売します！また、昨年度大好評だった「お気に入りの民族衣装を探そう！」の第2弾も企画中。ぜひご来場ください。

申込：不要
参加費：無料



おまつり地球一周クラブ

チョアチョア・コリア



10月4日(土) 10:30~14:00

韓国出身の講師から母国に関するお話を聞いたり、料理をしたり、遊んだりする小・中学生向けの国際理解プログラムです。※保護者は最後の30分のみ見学可

講師：イム・スジョンさん、ジョン・ヒョジンさん
参加費：500円(材料費)

定員：小・中学生 15人(先着順・要申込)

持ち物：筆記用具・水筒、エプロン、三角巾

申込：9月4日(木)10時~受付開始

【報告①】7/10（木） 漫画『半分姉弟』トークイベントを開催しました。

7月10日（木）に、漫画家の藤見よいこさんをゲストとしてお迎えし、漫画『半分姉弟』のトークイベントを開催しました！当初の予定を超える約60名の方にご参加いただきました。

今回は「漫画から考える『ハーフ』のマイクロアグレッション」をテーマに内容を進めました。本作で描かれているマイクロアグレッション（無自覚の偏見による差別的な言動）のシーンをいくつか取り上げ、よいこさんの熱い想いや考えを聞くことができました。

また、創作活動にまつわるお話や裏話など、普段なかなか聞けない貴重なお話もたくさん伺うことができました。トーク後の質疑応答の時間でも参加者からたくさんの質問をいただき会場は大盛り上がりでした。

イベント後のサイン会には長蛇の列ができ、参加者の多くがこの日を楽しみにして来てくださったことが伝わってきました。参加者からは「日本社会で暮らすマジョリティとしてこれまで自分が無自覚だったことや無自覚になってしまうかもしれないということに自覚的でありたいと思いました」「よいこさんが話されていた『その立場の人じゃないと見えないものがある』という言葉にハッとしました。今日のお話や体験を忘れずに、これからも学び続けていきます」「（漫画の中に）怒りのシーンが多くて感情をあまり出してこなかった自分にとって『あ、怒りまくっていいんだ』と思って気持ちが軽くなりました」等々、嬉しい感想が多数寄せられました。普段の講座やセミナーとはまた違った雰囲気、漫画というフィルターを通して外国にルーツを持つ多様な当事者の視点から日々彼女・彼らが経験しているマイクロアグレッションを知ることができ、いい機会になりました。今後も自分の周りや地域の中で安心できる関係や場所をどう作っていけばいいのか等について、参加者とともに考えることができる場を継続して作っていききたいと思います。（協会職員・カツラシャハラ）



ゲストの藤見よいこさん（左）



会場の様子

【報告②】7/19（土） 女性×外国人の視点で考える防災講座を開催しました！

7月19日（土）に、（一財）とよなか男女共同参画推進財団と共催で「女性×外国人の視点で考える防災講座」を開催し、40人の女性（うち外国人22人）の参加がありました。

講座では、前半に災害時における①女性の困りごと、②外国人の困りごと、③避難所とはどんなところか、についてお話がありました。後半では、とよなか男女共同参画センター内の「すてっぷホール」へ移動し、今回の講座のメインとなる“模擬避難所”体験を行いました。“模擬避難所”としてホール内に設置された簡易テント、簡易トイレや段ボールベッドなどについて説明を受けたあと、「避難所のあんしん・あんぜん チェックシート」を用いながら、女性や外国人だけでなく、子どもや性的マイノリティ、障害を持つ人など多様な人々にとって安全で、安心して過ごせる避難所について考えるグループワークを行いました。避難所で不安に感じることや、避難所にあつたらいいなと思うことについて、それぞれのグループで活発な意見が交わされました。



講座前半の様子



グループワークでは様々な意見がでました



避難所ワークショップの様子

参加者からは「避難所がどんな場所かずっと知りたかったのを、今日知ることができました」「ふだん気づくことが少ない外国の方の視点をたくさん学べてよかった」「メンバーに多様性があるって色々な視点が見えてよかった」「情報や人とのつながりが大切と思った」といった感想をいただきました。こうした講座を今後も継続していきたいと思います。（協会職員・山根絵美）

協会事業 (子ども母語・サンフレイスのコーディネーター、マイクロアグレッション啓発パンフレット作成チーム) に参加していた葉上千紘さんが、2025年4月から研究活動のためにスウェーデンに留学をしています。現地から留学体験談をお届けします!

Hej (こんにちは)! スウェーデンより二回目のコラムを書かせていただきます。今回はスウェーデンの多文化の状況について少しお話させていただきます。2024年時点で総人口の約20%にあたる220万人ほどの外国生まれの人々が暮らしています (スウェーデン統計局2025)。人々の生まれた国を見ると、スウェーデンに次いで多いのはシリア、三番目はイラク、その後フィンランド、ポーランドが続きます。また外国に背景のある人 (本人が外国生まれ、もしくはスウェーデン国内で生まれた人で外国生まれの両親をもつ人) は290万人を超えます。スウェーデンにこれほど多くの外国生まれ/外国に背景のある人が暮らす背景には、スウェーデンの移民政策が関係しています。

スウェーデンは北欧諸国の中でも特に移民・難民受け入れに寛容な政策をとってきたことで知られます。移民送り出し国であったスウェーデンが受け入れ国に転じたのは第二次大戦期のことです。戦後は、東ヨーロッパ諸国を中心に仕事を求めて多くの人々がやってきました。80年代以降は戦争などで難民としてスウェーデンにやってくる人々が増加します。その後は、ユーゴスラビア紛争、イラク戦争、シリア内戦など戦時下や政情が不安定な地域からの難民を受け入れてきました。2024年はウクライナから移り住む人が最も多くなりました。

移民・難民受け入れの長い歴史を持つスウェーデン。ただ、移民・難民受け入れに関する市民の反応は多様で、移民政策は国政選挙でも大きな争点になっています。では、スウェーデンに暮らす外国にルーツを持つ人々はどのような生活を送り、どう感じているのか。今後は私がスウェーデン滞在中に出会った、外国にルーツを持つ人々との交流から見てきたこととお話しできればと思います。

Tack så mycket (ありがとうございました)!



市立図書館のキッズコーナーの『長くつ下のピッピ』80周年を記念したコーナーにて、多言語でのピッピの絵本が展示されている様子

【報告③】7/6 (日) おまつり地球一周クラブ: ウクライナ編を開催しました!

7月6日 (日)、子ども向け国際理解プログラム「～平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ ウクライナ編」を開催しました。

当日はウクライナ出身の講師ヴァルヴァーラさんをお迎えし、ウクライナの文化や暮らしについて楽しくお話しいただきました。

最初にウクライナの豊かな自然や有名なお城、教会について紹介する動画をみたあと、ウクライナの場所、国旗の色の意味、伝統的な民族衣装や有名な食べ物についてご紹介いただきました。

今回、特に子どもたちが夢中になっていたのは、ウクライナの伝統的な毛糸人形(モタンカ) 作りの体験です。毛糸をダンボールに巻いて形を整えるシンプルな作業で子どもたちは個性ある人形を完成させていました。

ヴァルヴァーラさんの説明はわかりやすく、子どもたちも自然とウクライナの文化に親しむことができ、異文化への関心を深めるよい機会となりました。(インターン生・千原凛乃)



講師のヴァルヴァーラさん



人形作りに取り組んでいる様子



完成したウクライナの人形

2025

9月の事業開催カレンダー

●豊中市で暮らす外国人の数（2025年7月末時点）
8,299人（前月比+84人）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
01 もっ と 相談	02 おやこ 相談 こんぱす 多文化子育て ボランティア養成講座① 10:00~12:00	03 休館日	04 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	05 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	06 どあさ 相談 English Day プエルトリコ編 14:00~15:30	07 貸室抽選会 がちゃ 庄内
08 もっ と 相談	09 おやこ 相談 こんぱす 多文化子育て ボランティア養成講座② 10:00~12:00	10 休館日	11 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	12 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	13 どあさ 相談	14 がちゃ 母語 サンプル たまりば
15 敬老の日	16 おやこ 相談 こんぱす 多文化子育て ボランティア養成講座③ 10:00~12:00	17 休館日	18 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	19 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	20 つどい どあさ 相談	21 がちゃ サンプル 庄内 たまりば
22 もっ と 相談	23 秋分の日	24 休館日	25 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	26 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	27 相談 国際交流フェスタ 10:00~15:00	28 がちゃ 母語 サンプル 庄内
29 もっ と 相談	30 おやこ 相談 こんぱす					

センターが主催する定例事業

月曜日…	もっ ともっ とつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日…	おやこ(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日…	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 つながれ とよなか オンライン!	13:30~15:00 13:30~15:00 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日…	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日…	韓国・朝鮮のこぼとあそびのつどい ※基本、毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 みんなでにほんご・どようあさ	9:30~11:30 11:00~16:00 10:00~12:00
日曜日…	にちょうがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス※第1日曜日のぞく 若者のたまりば※第1日曜日のぞく 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00~11:45 10:00~11:30 13:00~15:00 13:00~15:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

災害への備え、できていますか？

9月1日は「防災の日」、そして9月は防災月間です。
1927年9月1日に関東大震災が起こったこと、また、9月
は台風など災害が多いためです。

とよなか国際交流センターでは、災害時に多言語情
報を速やかに伝えることを目的に、「災害時多言語支
援情報サイト」を開設しています。災害の備えに役立つ
情報なども15言語で発信しています。災害に備えるた
め、ぜひ一度サイトを見てみてください。

右記二次元コードよりご覧いただけます。

とよなか国際交流センターおしらせ
「こくりゅうだより」第197号(2025年9月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00~21:30 受付時間:9:00~17:30(水曜休館)
TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

